

### 総務文教常任 委員会レポート

総務文教常任委員会（小笠原茂人委員長）は、10月29日から2月20日まで、「豊頃町立豊頃中学校改築等」について、中学校改築等に関する計画の概要、説明会の実施状況、基本設計業務の契約等を調査しました。

広報とよころ

議会だより

役場だより

- 1 調査の経過と結果
- (1) 「豊頃町立豊頃中学校改築等に関する計画」の概要
- ① 計画の位置付け

教育委員会は、平成27年から本町学校教育の環境について調査研究を開始し、検討を進めてきた。平成30年9月に豊頃町立中学校校舎建築検討委員会から町長および教育委員会に提出された「豊頃町立中学校校舎等の建築のあり方について」の報告書をもとに本計画を策定している。

- ② 本町学校の特色ある教育活動
- 本町では「報徳のおしえ」を基盤に学習機会の設定や、小・中



教育委員会から計画に関する説明を聴取

校相互の連携教育を展開し、子どもたちの生きる力の醸成や健全育成の推進を図る特色ある教育活動を進めてきた。

- ③ 今後の学校施設等のあり方

豊頃中学校建築にあたり、国の学校施設環境改善交付金事業の採択が可能と判断されること、現下の文部科学省の学校教育における方向性、連携教育などを総合的に検討し、小・中一貫教育を効果的・効率的に実施できる学校施設整備および周辺環境整備等について次のとおり内容を確認した。

- ▼豊頃中学校は、小学校に併設する形で移転改築する。
  - ▼併設した豊頃中学校の運用開始は、令和5年4月を目指す。
  - ▼移転改築後は、社会体育施設を集約した運動公園ゾーンに位置付けるなど、今後協議検討する。
  - ▼将来的な保育所のあり方や教員住宅の移転を検討する。
  - (2) 計画の関係団体への説明およびパブリックコメントの実施
- 令和元年9月から町内小・中学校教職員、各学校保護者、町内保育保護者などに本計画の説明を



改築を予定されている豊頃中学校

行った。また、令和元年11月1日から同年12月31日までの期間、える夢館および大津支所においてパブリックコメントを実施し、121件の意見が出された。

- (3) 豊頃中学校改築等工事基本設計業務の契約について
- 豊頃中学校改築等基本設計業務の契約にあたり、設計業務受託を希望する設計者を公募し、業務の施工に必要な、豊かな感性と高技術力、豊富な経験を有する優れた設計者を選定するために『公募型プロポーザル方式』を活用した。本町の教育環境の将来を見据え、地域の特性や自然環境の調和など

を考慮し、特定者を選定。令和2年2月12日に契約を締結した。契約期間は同年7月22日までとし、契約金額は2200万円である。

- 2 まとめ

本調査では、「豊頃町立豊頃中学校改築等に関する計画」の概要、同計画に関する説明会およびパブリックコメントの実施状況ならびに豊頃中学校改築等工事基本設計業務の契約の概要等について、説明聴取を実施した。教育委員会は関係団体への説明およびパブリックコメントにより住民からの意見を広く聴取するよう努めた。今後、理解を広げるためにも、より積極的な情報公開・意見徴収が必要と考える。基本設計の素案づくりの過程で、これまで出された意見のすり合わせや、「報徳のおしえ」を目で見てわかる形で特色ある学校づくりに生かすためにも十分な検討が必要ではないか。子どもたちの教育環境の充実と町民に愛される学校となるよう、住民と一体となって改築事業を進めるべき。運動公園ゾーン、文教ゾーンの検討においては、公共施設の移転が議題となることから住民との対話を重視すべきなどの意見が出された。

※要約掲載

### 産業厚生常任 委員会レポート

産業厚生常任委員会（坂口尚示委員長）は、2月6日、「保育所運営の状況」について、町内各保育所の運営状況と施設管理状況を調査しました。

- 1 調査の経過と結果
- (1) 各保育所の状況（2月1日現在）
- ① 茂岩保育所

昭和49年4月に認可され、同年5月事業開始。施設は平成19年10月から旧茂岩小学校を改築した子どもプラザとよころの1階部分を使用している。入所児童数は59人で年齢別内訳は、0歳児4人、1歳児4人、2歳児10人、3歳児17人、4歳児11人、5歳児13人である。

保育士は配置基準の7人に対し12人（うち3人は代替保育士9人の中から調整）が勤務している。保育内容は、5項目の保育目標を掲げており、目標達成に向けて、



子どもプラザとよころで保育所の運営状況を調査

指導計画等の作成、保育士の打ち合わせ会議の開催、各種研修会の実施・参加などを行っている。保育時間は、通常保育は平日が午前8時30分から午後4時30分まで、土曜日は午前8時30分から午前12時まで、日曜日、祝日、年末年始は休所。保護者の希望により、早朝保育を午前7時30分から、残児保育を午後6時まで行っている。国の幼児教育・保育の無償化制度により、3歳以上児と3歳未満児のうち住民税非課税世帯、第3子の一部、第3子以降が無料。

- ② 大津保育所

昭和53年2月に認可され、同年4月事業開始。平成元年に小規模保育所に変更している。施設は平成26年4月に大津地域コミュニティセンター横に建設された。入所児童数は11人で、1歳児1人、2歳児2人、3歳児3人、4歳児1人、5歳児4人である。保育士は配置基準の2人勤務しており、保育内容は茂岩保育所と同様。保育時間も通常保育は同様。保護者の希望により、早朝保育を午前8時から、



大津保育所を視察

残児保育を午後5時まで行っている。保育料は月額5千円であるが、3歳以上児と3歳未満児のうち住民税非課税世帯が無料。

- (2) 保育施設管理の状況
- ① 子どもプラザとよころ

保育施設を核とし、子育て支援センター、こたばの教室および学童保育所を併設した複合児童福祉施設で、昭和57年に完成した旧茂岩小学校閉校後、平成19年に改築、外構工事等の整備をしている。建築後37年が経過し、最近の主な改修は、平成20年度に遊戯室・廊下の床改修、駐車場の舗装、平成21年度に体育館屋根外壁塗装、平成22年度に親子交流室改修、平成

26年度に屋根の改修を実施している。

- ② 大津保育所

大津保育所は平成26年に現在地において新築している。建築後5年が経過し、完成後に大きな改修は行っていない。

- (3) 今後の課題

安定した保育所運営ができるよう保育士等の人材の確保、保育士業務見直しの検討や、サービス・運営形態として、土曜日の一日保育、休日保育、病児保育の実施、認定子ども園への移行や民営化の検討など、施設管理では長寿命化計画の策定、遊具の整備計画の策定が検討されている。

- 2 まとめ

各保育所では、国の定める保育所保育指針を遵守しながら、地域住民とつながりを持って様々な行事を実施するなど入所児童を保育しており、今後さらなる保育の質の向上に期待したい。施設管理では保育環境の充実に向けて、老朽化した遊具等の整備が必要であることが分かった。保育体制は保育士有資格者を中心とする保育人材の確保が深刻な問題となるため、より積極的な募集活動をすべきではないか、保育士の業務改善、待遇改善が必要ではないかなどの意見が出された。

※要約掲載